

【様式1】

学校名	富士川町立鰐沢小学校	教科	算数科
研究主題	「確かな学力」を身に付け、生き生きと学び合う児童の育成 ～算数科の学習における「主体的・対話的で深い学び」の実現を通して～		

1. 研究内容及び具体的な研究活動

(1) 研究内容

- ①理論研究（学習会）の充実
- ②授業研究 ⇒ 指導案作成・研究授業・授業後の研究会 ⇒ 日々の授業実践へ

(2) 具体的な研究活動

- ①理論研究（学習会）の充実
 - ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実について
 - ・学習者主体の授業について
 - ・実践事例の紹介
 - ・算数科の授業における ICT の活用について
 - ・教職員の ICT 技術の向上を目指して
 - ・先進校視察（静岡市立南藁科小学校・甲州市立塩山南小学校）の還流報告



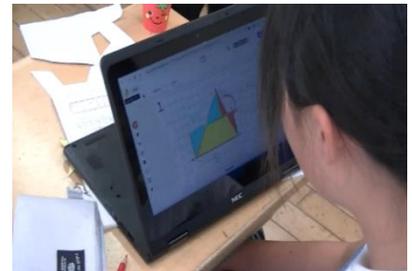
②授業研究

第5学年 算数科研究授業

単元名「四角形と三角形の面積」

- ・自由進度学習の設定

平行四辺形・三角形・台形・ひし形の4つの図形の求積過程で単元内自由進度学習を設定。1回目は三角形と平行四辺形の面積の求積において、児童が自分で求積の順番を決め、進度を調整しながら解決の方法を考え、一人一人が求積方法を説明。2回目は台形とひし形の面積の求積方法において同様に実施。



第3学年 算数科研究授業

単元名「□を使った式」

- ・子供が主語となる学びを目指して
子供とともに解決の見通しを立て、子供自身が取り組み方を選び、課題解決に向かう。授業の終わりには学習内容の理解と自分の学び方を振り返り、学びを調整する力の育成を目指す。様々な準備をし、一人一人の多様な学びをサポートする。



2. 研究の成果と課題 (○成果 ●課題)

①理論研究（学習会）の充実

- 「新たな学びの姿」をイメージすることができた。思い切って子供に委ねる（計画する・選ぶ・決める）ことが大切。
- 先進校視察が参考になった。単元計画や授業デザイン（授業づくり）について理解を深めた。
- 従来の一斉授業からの意識転換が必要。

②授業研究

- ICTを効果的に活用することで学びが深まる。子供と教師とで、情報をその場ですぐに共有できることが GIGA 環境の特徴である。それを生かした他者参照や、情報を共有すること等を通して、一人一人の学びをサポートしていく。
- 学習者主体の授業とは、子供自身が学びをデザインすることである。どのような方法・道筋で解決するか、自分にとって最適なやり方を子供自身が見付けられるように、教師は ICT を活用し、環境を整えていく。
- 子供同士の学び合いの促進には、解決すべきことを子供が自覚した上で、学級全員が解決を図る必要があるという意識をもたせる。日頃の学級経営や児童相互の人間関係の在り方が重要となる。
- 算数科における資質・能力の育成を念頭に、新たな学びのスタイルと今までのスタイルをどのように組み合わせるか。子供にどこまで学びを委ねるか。それを見通した単元構成の見直し。
- 単元の中で協働的な学びをどのように仕組むか。
- 子供のメタ認知能力や自己の学びを調整する力の育成が必要。自己の学びを振り返り、共有することで次に生かしていく。
- 学習者主体の学びにより子供の資質・能力が育成されたのか。また、それをどのように見取り、評価につなげるか。
- 子供が学びを自分事として捉え、主体的に取り組めるようにするための学習改善。

③その他

- 学校教育全体を通して、「自ら課題を見付け、自ら解決しようとする力」の育成を目指して、子供の自発的・自治的活動の支援に全校で取り組んできた結果、子供が自分事として課題を捉え、解決に向かう姿が多く場面で見られるようになった。
- 校内研のクラスルームを作成・活用し、様々な情報を職員間で共有できた。
- 授業のみでなく、学校生活での子供のさらなる参画意識の向上が必要。

第5学年 算数科学習指導案

1. 単元名 「四角形と三角形の面積」(第5学年 「B 図形」(3))

2. 単元の目標

- (1) 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の計算による求め方について理解し、それらの面積を公式を用いて求めることができる。
- (2) 図形を構成する要素などに着目して、求積可能な図形に帰着させ、基本図形の面積の求め方を見いだすとともに、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くことができる。
- (3) 求積可能な図形に帰着させて考えると面積を求めることができるというよさに気づき、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を求めようとしたり、見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高めようとしたりしている。

3. 単元について

児童は第4学年の「面積のはかり方と表し方」で長方形、正方形の面積の求め方を学習している。その際に、単位となる面積を決めて、その何こ分で表して広さを数値化するなどの活動を通して、面積の意味と単位について理解し、面積公式を導いている。また、複合図形の面積を求める等の活動を通して、面積の保存性や等積変形等についても学習している。

本単元では、基本図形の面積を既習の求積可能な図形の面積の求め方に帰着させ、計算によって求めていくことを主なねらいとしている。求積方法を考える際、等積変形、倍積変形、分割などの考えを用いて、既習の面積の求め方の考えを活用することを繰り返すことにより、そのよさを実感することができる。さらに、面積の求め方を振り返り、より簡潔で的確な表現に高めることで、公式を導くこともねらいとしている。

高学年では、この単元以降に様々な公式を学習する。公式は便利ではあるが、公式を覚えて適用することが目的にならないようにすることが大切である。令和3年度の全国学力学習状況調査において、三角形の面積の求め方への理解を問う設問では正答率が6割に届かなかった。一方で、図に示された全ての辺の長さに着目して立式した児童の反応率は2割であった。また、令和5年度の調査において、高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する設問では、高さについて具体的な長さが示されていないため比較できないとした児童の反応率は2割であった。これらの要因として、面積を求積する際に、図形に示された数値を使って公式で求めることが前提となっていることが考えられる。そこで、本単元の学習を通して、課題の解決に当たって、児童が公式のような方法を知ることだけを求めるのではなく、まず、自分で考え、様々な方法で自分なりの解決方法を導き出していくことを大切にする態度を育てたい。

これらのことを踏まえて、本単元では児童が自らのタイミングで、自分にとって最適な学び方を選択できるように単元内自由進度学習を設定する。具体的には、計算による面積の求め方を考え説明する活動場面において、児童が進度を調整しながら求積方法を考え、必要に応じて既習事項を振り返ったり、

友達に質問したり、友達に説明したりすることができるように学びの場を設定する。また、自分の解決方法に自信を付けたり、よりよい方法に気付いたりできるように、様々な形の適用問題に取り組めるようにする。本単元の学習を通して、問いをつなぎながら取り組む一斉授業だけでなく、自らの力で課題と向き合い、自分で学習方法を決めたり、友達と協働したり、自分の考えを伝えたりするなど、多様な学び方で能動的に取り組む単元内自由進度学習の一部を取り入れて、学習を調整する力を育てていく。

4. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 必要な部分の長さを用いることで、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積は計算によって求めることができることを理解している。 ② 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を、公式を用いて求めることができる。	① 三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積の求め方を、求積可能な図形の面積の求め方を基に考えている。 ② 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現を見いだしている。	① 求積可能な図形に帰着させて考えると面積を求めることができるというよさに気づき、三角形、平行四辺形、ひし形、台形の面積を求めようとしている。 ② 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高めようとしている。

5. 指導と評価の計画（13時間）

時	ねらい・学習活動	評価規準（評価方法）		
		知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	面積の比べ方を考える活動を通して、直線で囲まれた基本的な図形の面積の求め方を考えるという単元の課題を設定する。		・思①（ノート分析、行動分析）	・態①（行動分析）
自由 2 （本時） ・ 3	面積の求め方を考え、説明することができる。 （先生チャレンジ1） 平行四辺形と三角形の面積の求め方を考え、説明しよう。	・知①（ノート分析、行動分析）	・思①（ノート分析、行動分析）	・態①（ノート分析、行動分析）
4 ・ 5	式や図、考え方を比較して平行四辺形と三角形の面積の公式をつくり出し、それらを用いて面積を求めることができる。	・知②（ノート分析、行動分析）	・思②（ノート分析、行動分析）	・態②（ノート分析、行動分析）
6 ・ 7	図形の高さに着目し、高さが図形の外にある場合も内にある場合も、高さとして統合的に捉えることができる。	・知①（ノート分析、行動分析）		

自由 8 ・ 9	面積の求め方を考え、説明することができる。 (先生チャレンジ2) 台形とひし形の面積の求め方を考え、説明しよう。	・知①(ノート分析、行動分析)	○思①(ノート分析、行動分析)	○態①(ノート分析、行動分析)
10 ・ 11	式や図、考え方を比較して台形とひし形の面積の公式をつくり出し、それらを用いて面積を求めることができる。	・知②(ノート分析、行動分析)	○思②(ノート分析、行動分析)	○態②(ノート分析、行動分析)
12	三角形の底辺の長さを一定にして高さを変えたとき、面積は高さに比例することを理解することができる。	・知②(ノート分析、行動分析)		
13	学習内容の定着を確認する。	○知①②(ペーパーテスト)		

6. 本時の学習

(1) 目標

求積可能な図形の面積の求め方を基に、平行四辺形や三角形の面積の求め方を考え、説明することができる。

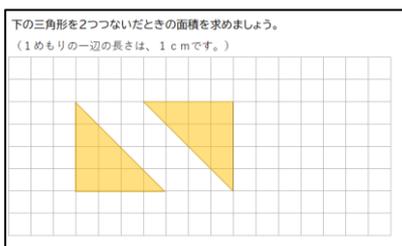
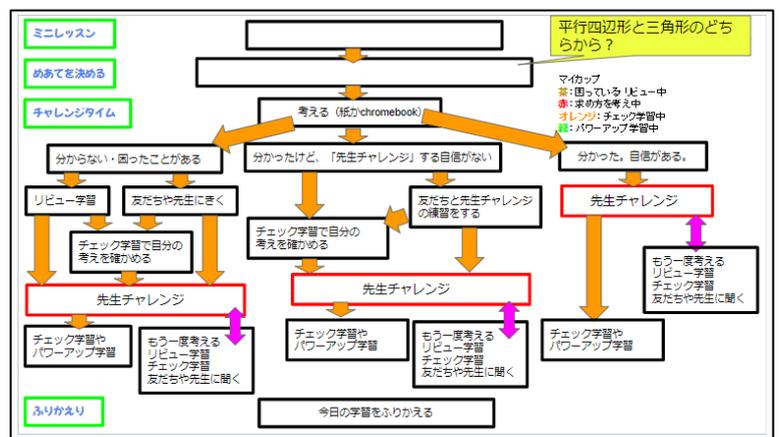
(2) 学びの場の設定

【自由進度学習時のチャート図】

自由進度学習導入時に右の図を提示した。児童の Google Classroom に配布し、いつでも確認できるようにした。

【レビュー学習】

必要に応じて既習内容を振り返ることができるよう、Google Jamboard の 1 枚目に問題、2 枚目以降にその解答と解説を示した。以下の 2 種類を作成した。



【チェック学習】

Google Jamboard の 1 枚目に問題、2 枚目以降にその解答と解説を示した。適用問題の一部を用いて、一つの図形ごとに一つのファイルで作成した。

【共同編集の Google スプレッドシート】

1枚目のシートに単元の学習計画、2枚目以降に1時間ごとのめあてと振り返りを記述するシートで構成。クラウド上で共有し、いつでも他者参照できるようにする。

図形の面積	
1	ガイダンス
2	【自由進度学習】 先生チャレンジ1：平行四辺形と三角形の面積の求め方を考え、説明しよう。
3	
4	みんなの考え方を比べて、より簡単な方法を見つけよう。
5	
6	いろいろな形の平行四辺形や三角形の面積を求めよう。
7	
8	【自由進度学習】 先生チャレンジ2：平行四辺形、三角形以外の形の面積の求め方を考え、説明しよう。
9	
10	みんなの考え方を比べて、より簡単な方法を見つけよう。
11	
12	形や辺の長さや面積の関係を考えよう。
13	テスト(がんばれ!!)

😊：自信あり 🙄：たぶん大丈夫 😞：自信がない
チャレンジタイムに入る前の気持ちを絵文字で表す。

学習計画を示し、学習の見通しをもつ。

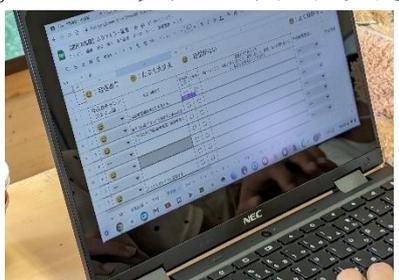
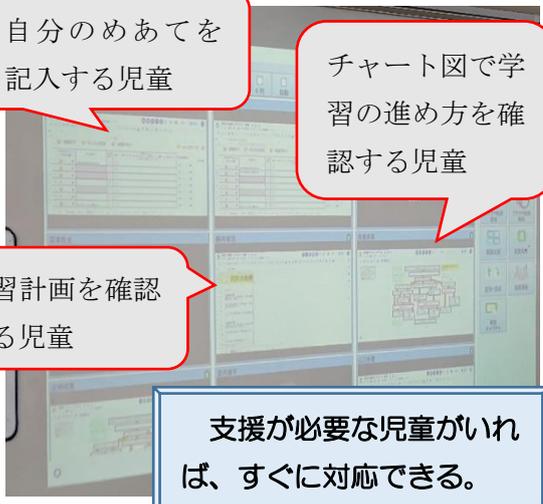
自分の言葉でめあてを書く。

授業の振り返りを書く。

今日のチャレンジタイムは...	今日のめあて	平行四辺形	三角形	授業をふりかえって (分かったこと、まだ分からないこと、発見したこと、疑問、もっと知りたいこと、友だちの考えについてなど)	今日の授業は...
😊	三角形の面積の求め方を考える。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	最初の方は、全く分からなかったけど、色々やってみるうちにだんだんわかってきたので、スッキリしてよかった。	😊
🙄	あまり自信がないけど諦めずにがんばる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1cmないものはないもの同士でくっつけてそれを縦と横でかけ算をして求めた	🙄
😊	三角形と平行四辺形の面積の説明を考えよう	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	三角形の面積を求めることができた。でも、合同のことを説明するのを忘れていたけど、わかったのでホッとした。	😊
—		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		—
😊	先生にわかりやすく面積の求め方を伝える	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	説明がうまくできなかった。三角形の面積の求め方を求めたい。	😊
😊	三角形と平行四辺形のやり方を考えよう	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	三角形と四角形の求め方を知りたい	😊
😊	わかりやすいように説明する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	三角形も平行四辺形も面積が分からなかった	😊
😊	なるべく早く合格する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	切ってくっつける様な感じにしたらある形ができた	😊
—		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		—
😊	三角形と平行四辺形の面積の求め方を考える	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	まだ平行四辺形と三角形の求め方が分からなかったので求め方を知りたいです。	😊
😊	しっかり、自分で考え、どうしてもわからないときは、友達や先生に聞く!	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	自分なりに、説明がうまくできなかったけど、自分の中ではこれがこうなってこれだな、とかが分かったので良い勉強になりました。	😊

😊：よく分かった 🙄：だいたい分かった 😞：よく分からなかった
授業後の気持ちを絵文字で表す。

(2) 授業記録

時間	学習活動	指導上の留意点 (・)
7分	<p>1 ミニレッスン 本時の課題と学習の進め方を確認する。 (先生チャレンジ) 平行四辺形と三角形の面積の求め方を考え、説明しよう。</p> <p>2 めあてを決める Google スプレッドシートにめあてを記入する。</p> 	<p>・学習支援ソフトで、児童の活動の様子をホワイトボード上に共有する。</p>  <p>自分のめあてを記入する児童</p> <p>学習計画を確認する児童</p> <p>チャート図で学習の進め方を確認する児童</p> <p>支援が必要な児童がいれば、すぐに対応できる。</p>

30分

3 チャレンジタイム

平行四辺形か三角形の面積の求め方を考える。求積方法を考えられた児童は、それを他者に説明できるようにする。



ICTを活用することで、試行錯誤がしやすくなる。また、共有しているので、友達の考えも参考にできる。



紙も用意してあるので、実際に切ったり動かしたりしながら考えることができる。



分からない時は、友達から学ぶ。

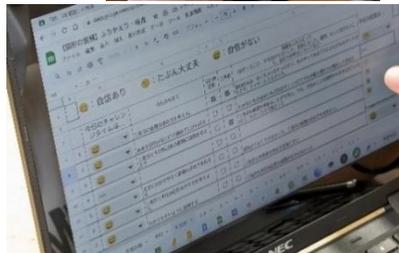


先生チャレンジを行う。

8分

4 振り返り

文章と絵文字で本時の振り返りを記入する。



- 図形はGoogle Jamboardと紙の両方を準備する。
- リビュー学習やチェック学習などの環境を作っておき、課題解決のための方法を児童が選択できるようにする。

☆ ホワイトボード上の活動の様子や、Google スプレッドシートのチェック欄により他者の学びを共有する。

平行四辺形	三角形
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

チャレンジに合格したらチェック。分からない時に誰に聞くか参考になる。

自分の内にあるものだけでなく外にあるものも含めて、自ら選択し活用することで、学習を調整する力を育む。
また、自己調整しながら課題を達成する経験を積み重ねることで、自己効力感ややり抜く力を高めていく。

- 「先生チャレンジ」の際、説明内容に不十分なところがあれば、その都度問う。

児童の説明を聞くときの視点（一例）

- どのような図形をどのように動かすか、図と関連付けながら具体的に説明しているか。
- 根拠を述べているか。 など

- 共同編集により他者の記述内容を共有する。

7. 本時の振り返り

(1) 課題の設定と単元構成について

児童は、平行四辺形と三角形のどちらかを選択して課題解決に取り組んだ。その際、しばらく考えてから、もう一方の図形を選択し直す児童の姿も見られた。2つの図形を同時に扱ったことで、児童が解決の見通しがつきやすい課題を選択することができた。

一方で、本時の活動の中で解決には至らず、振り返りの際に「よく分からなかった」を選択した児童が多かった。実際の児童の様子では、図形の全ての辺の長さに着目している児童が数名いた。このことから、面積の意味の理解が不十分であった実態がうかがえる。そのため、初めに平行四辺形の面積の計算による求め方を考えたり、公式をつくったりする問題解決の過程を一斉指導で行い、本単元で働かせる見方・考え方を共有する必要がある。「既習の面積の求め方の考えが活用できること」「様々な求積方法があること」「様々な求積方法を振り返り、簡潔かつ確かな表現に高めることで公式が導けること」などを共有した上で自由進度学習を設定すると、より一層自己調整しながら学ぶ態度の育成につながると考える。

実際に、単元の8・9時間目、台形とひし形の面積の求め方を考える自由進度学習では、等積変形、分割、倍積変形等、児童一人一人がそれぞれの考え方で課題解決を図ることができた。また、それらを共有することで、統合的・発展的に考察することができた。

(2) 「場の設定」について

本時では、必要に応じて既習事項を振り返ったり、友達に説明したり、友達に質問したりすることができるように、レビュー学習やGoogle Jamboardの共有など、学びの場を設定した。

レビュー学習については、取り組む児童が少なかった。今後も、いつでも既習を確認できる環境を整えることで、既習の考えや経験を基に課題を解決しようとする態度を育てていくことが必要である。

Google Jamboardの共有については、これにより、友達の考えを見て解釈し、自分のチャレンジ達成に生かそうとする姿も見られた。

しかし、児童が自由に動いて関わり合う姿が少なかった。実際の児童の様子を見ると、粘り強く課題解決に取り組んでいたため他者参照しなかった児童や、他者参照しても友達の考えを理解できない児童、自分から声をかけられない児童もいた。そのため、教師が児童の実態を見取り、必要に応じて友達の考えを見たり、直接聞きに行ったりするように促す等、児童と児童をつなぐための支援や児童同士がつながりやすい環境の設定が必要であった。

「新たな学びの姿にむけた授業改善推進事業」の事例について

算数科における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指して
～第5学年「四角形と三角形の面積」～

1 本事例を取り上げる理由

- ・単元内自由進度学習を設定することにより、自らの力で課題と向き合い、自分で学習方法を決めたり、友達と協働したりして、自己の学習を調整する力を育むことができる。
- ・クラウドを活用した各種情報共有の場を設定することで、自分のペースで学習を進めたり、いつでも他者参照したりすることができる。

2 本事例の概要

- ・第5学年「四角形と三角形の面積」の実践
- ・本時は全13時間中の第2時「平行四辺形と三角形の面積の求め方を考え、説明する」場面

【本時の流れ】

- ミニレッスン
既習事項や課題を全体で確認
- 自分のめあてを決める
- チャレンジタイム
自分で解決方法を決めて学習を進め、先生チャレンジを行う
- リビュー学習…既習の学習の振り返り
- チェック学習…他の場面でも使えることの確かめ
- パワーアップ学習
…発展的な内容に適用
- 振り返り

単元計画 形の面積

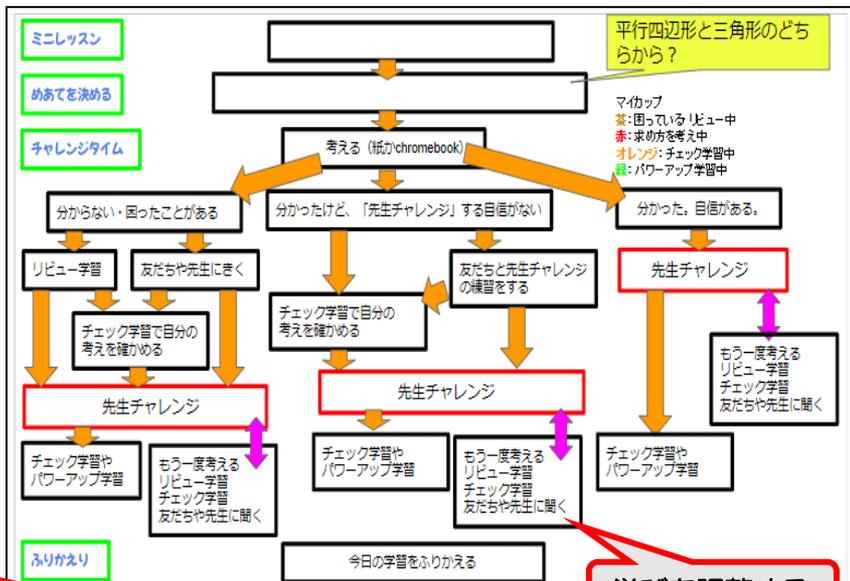
1	ガイダンス
2	【自由進度学習】 単元チャレンジ：平行四辺形と三角形の面積の求め方を考え、説明しよう。
3	
4	みんなの考え方を比べて、より簡単な方法を見つけよう。
5	
6	いろいろな形の平行四辺形や三角形の面積を求めよう。
7	
8	【自由進度学習】 先生チャレンジ：平行四辺形、三角形以外の形の面積の求め方を考え、説明しよう。
9	
10	みんなの考え方を比べて、より簡単な方法を見つけよう。
11	
12	形や辺の長さや面積の関係を考えよう。
13	テスト(がんばれ！)

学習のめあて

1	😊	三角形の面積の求め方を考える。
2	😊	あまり自信がないけど説明できよう。
3	😊	三角形と平行四辺形の面積の説明を考えよう。
4	😊	
5	😊	先生にわかりやすい面積の求め方を伝える。
6	😊	三角形と平行四辺形の面積の求め方を考えよう。
7	😊	わかりやすいように説明する。
8	😊	なるべく早く自覚する。
9	😊	
10	😊	三角形と平行四辺形の面積の求め方を考える。
11	😊	しっかり、自分で考え、どうしてかわからないときは、友達や先生に聞く！

見通しをもつ

自由進度学習のチャート図



自分で決める

学びを調整する

「新たな学びの姿にむけた授業改善推進事業」の事例について

算数科における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指して
～第5学年「四角形と三角形の面積」～

・本時の様子「チャレンジタイム」「振り返り」

内容がすぐに共有できる！

授業の振り返り



ICTの活用により、試行錯誤がしやすい！

共有しているから、友達の考えも参考にできる！

必要に応じて友達と学び合う。



本事例の成果 (○) と課題 (▲)

- 2つの図形を同時に扱うことで、図形を選択し直す姿が見られた。
- Google Jamboardを共有し、友達の考えを参照できるようにしたことで、友達の考えを見て解釈し、自分のチャレンジに生かそうとする姿が見られた。
- ▲ 考えを進めることができない児童が多かったため、自由進度学習内で必要となる見方・考え方や既習内容等を、事前に共有しておく必要があった。
- ▲ 児童同士が関わり合う姿が少なかったため、教師が児童の実態を見取り、必要に応じて児童と児童をつなぐための支援が必要であった。
- ▲ 児童に学びを委ねる場面と、見方・考え方を共有する場面をどのように組み立てるか。自由進度学習を見通した単元構成の見直しが必要であった。



紙を実際に操作することもできる！

先生チャレンジ

児童の説明を聞くときの視点 (一例)
 ・どのような図形をどのように動かすか、図と関連付けながら具体的に説明しているか。
 ・根拠を述べているか。 など

シタイムは...	今日のめあて	平行四辺形	三角形	授業をふりかえって (分かったこと、まだ分からないこと、発見したこと、疑問、もっと知りたいこと、友達の考えについてなど)	今日の授業は...
1	三角形の面積の求め方を考える。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	最初の方は、全く分からなかったけど、色々やってみるうちにだんだんわかってきた。	<input type="checkbox"/>
2	...	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	...	<input type="checkbox"/>
3	先生チャレンジ合格チェック	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	この人に聞いてみようかな？	<input type="checkbox"/>
4	先生にわかりやすく面積の求め方を伝える	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	説明がうまくできなかった。三角形の面積の求め方を求めたい。	<input type="checkbox"/>
5	三角形と平行四辺形のやり方を考えよう。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	三角形と四角形の求め方を知りたい	<input type="checkbox"/>
6	わかりやすいように説明する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	三角形と平行四辺形の面積が分かってきた。	<input type="checkbox"/>
7	なるべく早く合格する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	切っていく	<input type="checkbox"/>
8	三角形と平行四辺形の面積の求め方を考える	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	まだ平行四辺形と三角形の求め方が分からなかったため求め方を知りたいです。	<input type="checkbox"/>
9	しっかり、自分で考え、どうしてもわからないときは、友達や先生に聞く！	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	自分には、説明がうまくできなかったけど、自分の中ではこれがこうなってこれた、とかが分かったので良い勉強になりました。	<input type="checkbox"/>
10	...	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	...	<input type="checkbox"/>
11	...	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	...	<input type="checkbox"/>

1つのシートだから、児童の変容が見取りやすい！

自分の内にあるものだけでなく外にあるもの (友達の考え、レビュー学習、教科書等) も含めて、自ら選択し活用することで、**学習を調整する力**を育む。
 また、自己調整しながら課題を達成する経験を積み重ねることで、自己効力感ややり抜く力を高めていく。

見えてきた研究の課題

- ・児童のメタ認知能力や自己の学びを調整する力の育成を図る。
- ・協働的な学びを実現するための授業改善を推進する。
- ・育成を図る資質・能力を明確化し、児童にどこまで学びを委ねるかを考えた上で、単元の計画を立てる。